

●VP-8254Aの仕様

方式	C-QUAM(モトローラ)	主チャンネル変調	変調範囲 表示 精度 ひずみ率	0~100%(表示は125%まで) 3桁LED、1%ステップ ±(指示値×0.05+2)%(0~99%で) 0.2%以下 (AF 1kHz, AM50% BW 50Hz~15kHz RF 200kHz~1.9MHz)
搬送波周波数	200kHz~1999.99kHz 6桁LED 10Hz分解能 ±(5×10 <sup>-5</sup> ±1digit)	副チャンネル変調	変調の種類 変調範囲 表示 精度 ひずみ率	PM 0~100%(100%=45°) 3桁LED、1%ステップ ±(指示値×0.05+2)% 1%以下 (AF 1kHz, AM50% BW 50Hz~15kHz RF 200kHz~1.9MHz)
搬送波出力	最大出力 CW: 132dB EMF(19dBm) 100%AM: 126dB EMF(13dBm) CW: -20dB(-133dBm) 最小出力 FINE 0~±1dB 表示 3桁LED(dB/dBm表示切換可) インピーダンス 50Ω, VSWR1.2以下 基準レベル精度 ±1dB(126dB, FINE0dBで) 減衰器精度 ±1dB スプリアス 高調波-40dBc 非高調波-50dBc(2MHz未満)	クロストーク	周波数 変調範囲 表示 精度	25Hz±1% 0~10%(表示は12.5%まで) 3桁LED、0.1%ステップ ±(指示値×0.05+2)
残留変調	AM成分 -65dB以下 (MAIN 50%AMに対する比 BW 50Hz~10kHz RF 200kHz~1.9MHz) PM成分 ①-46dB ②-54dB(10kHz整数倍周波数) (SUB 50%AMに対する比 BW 50Hz~10kHz RF 200kHz~1.9MHz)	セパレーション	メモリー機能	連動プリセット 単独プリセット
入力信号による変調モード	名称 EXT L,R シングルトーン パイロット	入力信号 外部L,R信号 内部テストトーン 外部テストトーン 内部パイロット信号	変調モード ステレオ ステレオ L=R,L,R .L=-R ステレオ無変調	周波数、出力、変調の状態を1組にして、100通りまでストア、リコール 出力レベルのみ4点
内部テストトーン	400Hz, 1kHz ±3%	パイロット変調	メモリーコントロール	メモリー/リコール 0~99のUP, DOWN, CLER 出力、周波数のインクリメント
外部変調	周波数範囲 周波数特性 入力インピーダンス 基準入力電圧	周波数範囲 周波数特性 入力インピーダンス 基準入力電圧	14pin コネクタ	LEVEL FREQ LEVEL FREQ LED LED SW SW CLR DOWN UP GND ① ② N.C N.C +5V GND INCREMENT
L,R変調	変調範囲 表示 精度 ひずみ率	変調範囲 表示 精度 ひずみ率	GP-IB機能	(詳細は本文参照)
	0~80% 2桁LED、1%ステップ ±(指示値×0.05+2)% 1%以下(1kHz, AM50%) (BW 50Hz~10kHz RF 200kHz~1.9MHz)	0~80% 2桁LED、1%ステップ ±(指示値×0.05+2)% 1%以下(1kHz, AM50%) (BW 50Hz~10kHz RF 200kHz~1.9MHz)	電源	AC90~112V 50/60Hz
			消費電力	約45VA
			大きさ	W426×H99×D350mm
			質量	約11kg
			付属品	ケーブル 電源コード 電源コード接地アダプタ 予備ヒューズ 取扱説明書

●本カタログ記載の仕様、デザイン、大きさなどは規格改善のため予告なく変更させていただくことがあります。

●お問い合わせは...



松下電器産業株式会社  
松下通信工業株式会社 電子計測事業部  
〒223 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号  
電話(045)531-1231(大代表)

D-81 <85・10・010・S<sub>2</sub>>

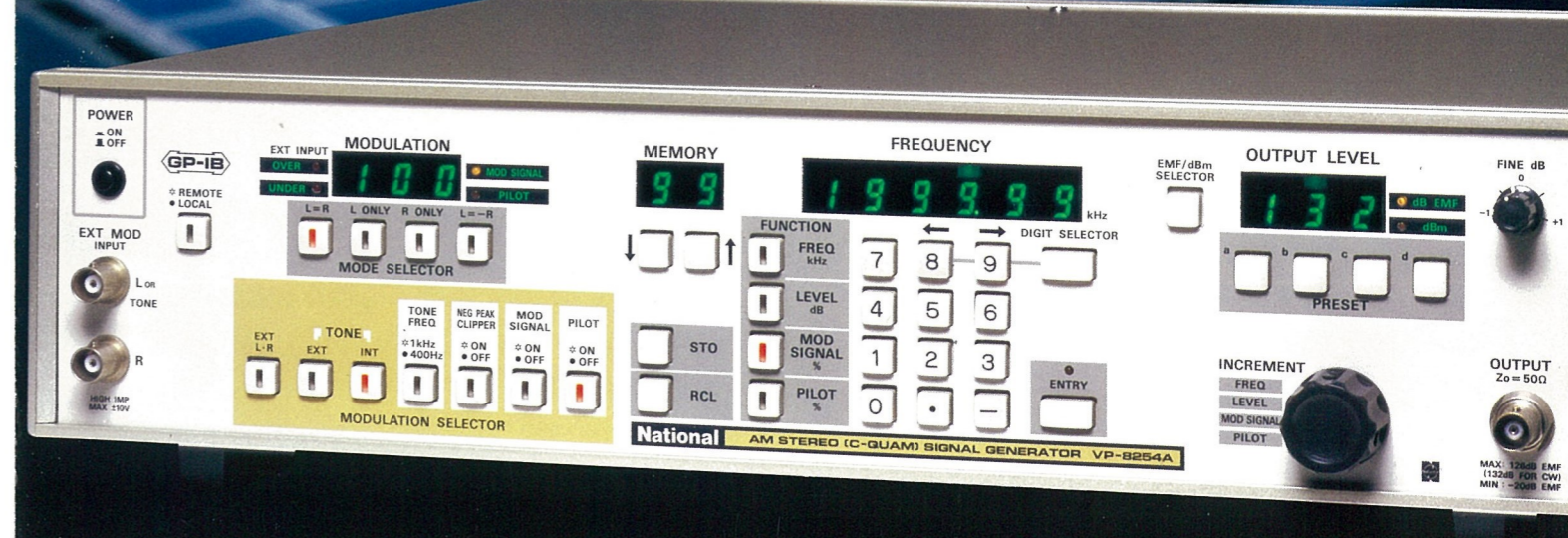
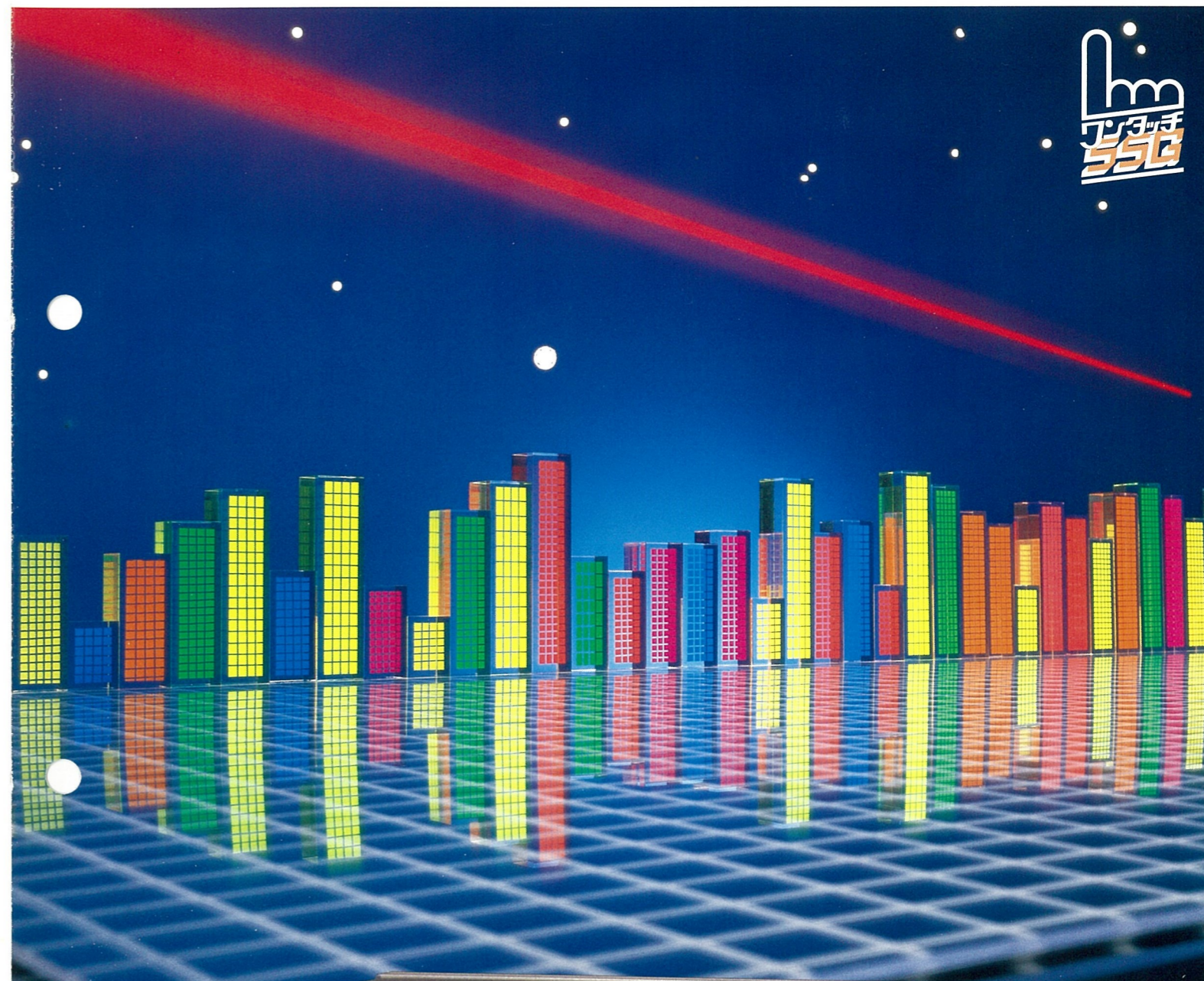
※このカタログの記載内容は1985年10月現在のものです。

●商品の色は撮影、印刷等の関係で実際の色と異なって見えることがありますのでご了承ください。

モトローラ方式を搭載した新鋭機

## AMステレオ信号発生器

VP-8254A



# モトローラ方式を搭載。 AMステレオSSGの先進形。

USA・AMステレオ放送の実用化に対応し、いち早くAMステレオ信号発生器の開発を推進してきたナショナルの先進技術。時代に先がけて、FCC認可の4方式(モトローラ、ハリス、カーン、マグナボックス)搭載のVP-8253Aを発売し、ベストセラー機種として数々の実績をつくってきました。◆いま、ナショナルは、モトローラ方式のニーズ拡大に応じて、先進のエレクトロニクス技術を駆使し、高性能AMステレオ信号発生器VP-8254Aを開発。広帯域、高精度、高出力を実現するとともに、信号性能のハイグレード化を推進。テンキーによるデジタル設定、100ポイント

のメモリー、GP-IBなど多彩な機能を装備。AMステレオ放送受信機やリアICの設計・開発、品質管理、量産工程から、GP-IBシステムまで計測の新しい可能性を拓きます。

- モトローラ方式を搭載●周波数200.00kHz～1999.99kHzのCW変調波を発生。最大132dBの高出力●変調ひずみ率0.2%以下、ステレオセパレーション36dB以上、S/N-65dB以下(AM)
- 操作はワンタッチ・テンキー方式。メモリー機能も装備し、連動プリセット100点、出力4点により、スピーディな測定が可能●GP-IBを搭載し、システム化に対応

## メモリー機能

連動プリセット100点、  
出力プリセット4点の  
メモリーで、高速測定

▼搬送波周波数、出力レベル、変調状態を一組とした連動プリセットを100点までメモリー(アドレス00～99)。必要な信号をワンタッチで呼び出し▼連動プリセットのほかに、出力だけを4点プリセット可能

## 変調部

MAIN, SUB 0～100%、  
パイロット0～10.0%の  
変調特性

▼外部L・R信号による変調、外部または内部テストーンによるL=R、L、R、L=-Rの変調が可能▼MAINは0～100%AM。SUBはMAINと連動し、AMステレオ変調方式で決まる値に対して、0～100%で変調▼内部テストーンは1kHzと400Hz。パネル面からスイッチで選択▼パイロット信号はC-QUAM、25Hz(0～10.0%)

## 周波数部

広帯域200～1999.99kHz、  
精度 $\pm 5 \times 10^{-5}$ の高安定

▼6桁デジタル表示、分解能10Hzを達成▼設定は数字入力キー方式で行えるほか、ロータリ・エンコーダにより設定値を可変▼とくに発振部にシンセサイズド方式を採用し、周波数精度と安定度が向上

## 出力部

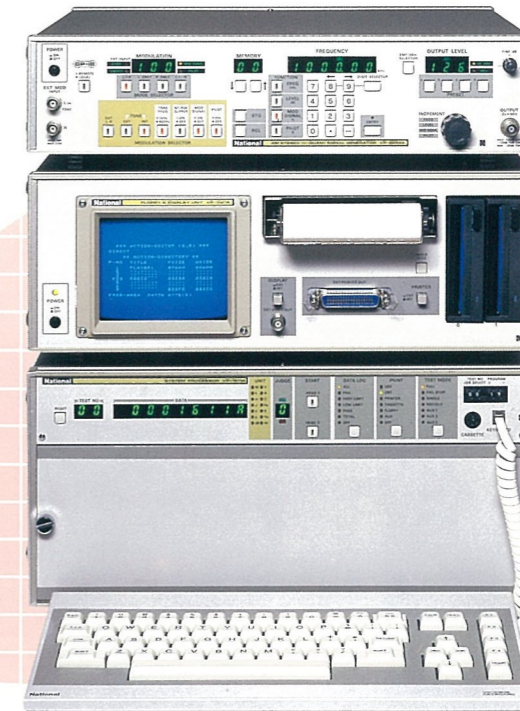
高出力-20～132dB、  
dB/dBm表示の切換え可能

▼最大132dBの高出力により、強入力試験や、テストループアンテナを使用する試験で外部アンプが不要▼設定はダイレクトに設定できる数字入力キーと可変操作に便利なロータリ・エンコーダの2方式▼1dBステップで3桁のデジタル表示。1dB以下は $\pm 1$ dBの連続可変つまみで設定▼表示単位はdB EMF(開放端0dB 1 $\mu$ V)とdBm(50 $\Omega$ 系)の2つの単位系の切換えが可能

# Measur Comテストシステムで 新しい可能性が広がる。

計測制御コンピュータ Measur Com VP-1611Aとの接続が可能。  
自動計測システムとしていちだんと広範な分野で活躍します。

## 自動計測システム<Measur Com TEST SYSTEM>



### ●測定項目例

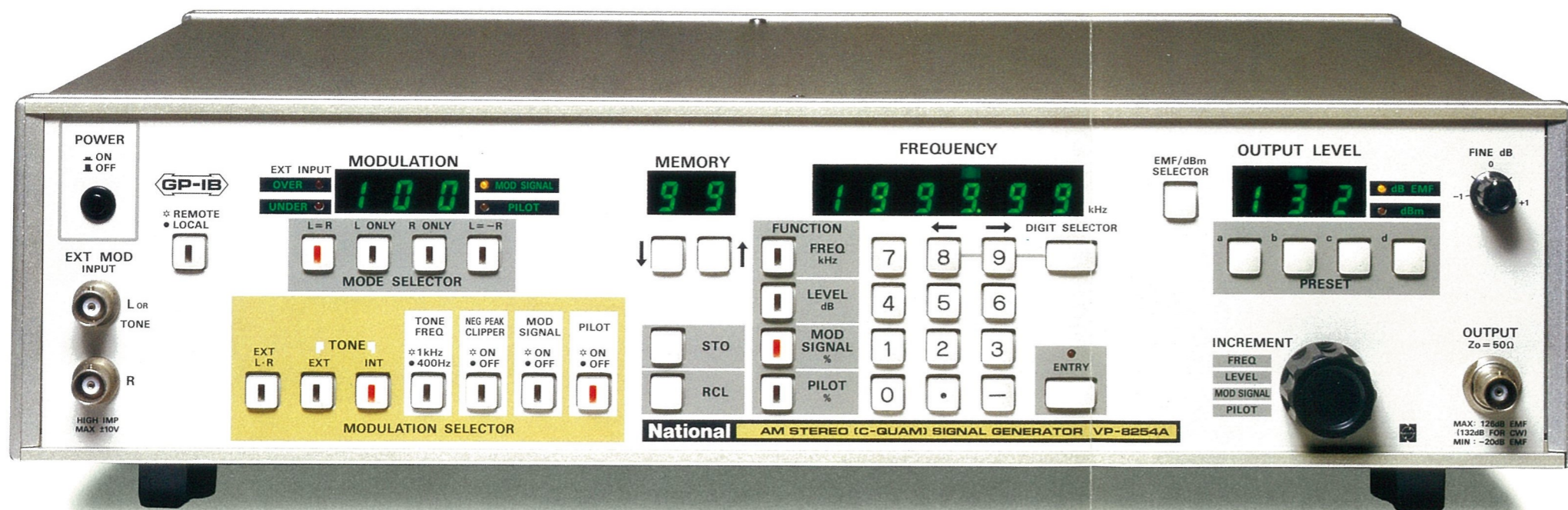
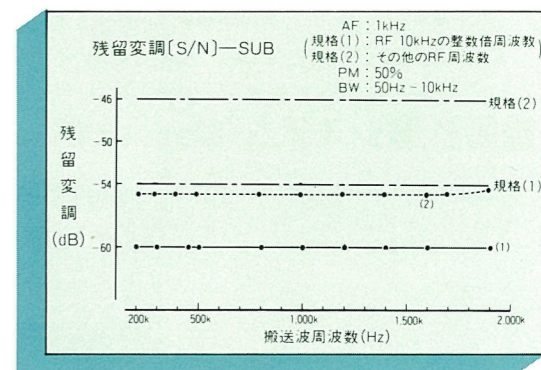
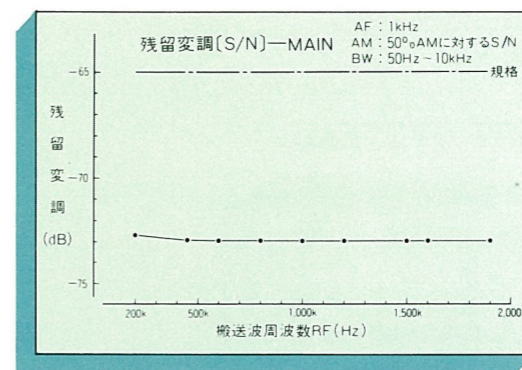
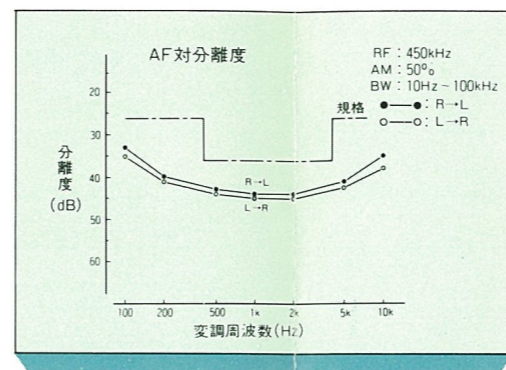
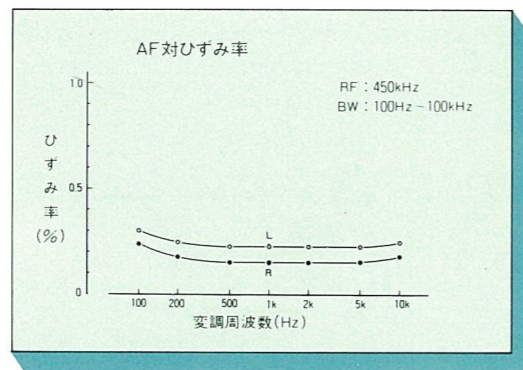
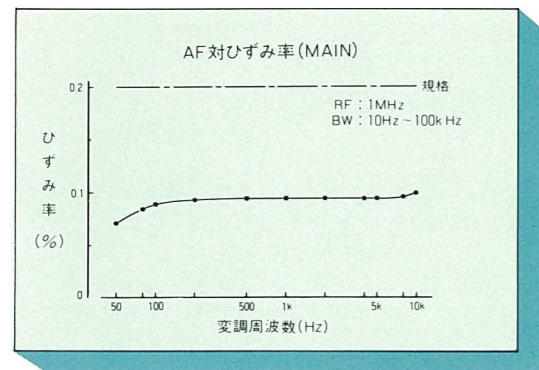
チューナ部		テープレコーダ部	
①C/N	⑤中間周波数妨害比	①録音/再生レベル	⑤テープスピード
②雑音限界感度	⑥総合周波数特性	②総合周波数特性	⑥ワウ・フラッタ
③最大感度	⑦ステレオセパレーション	③総合S/N	⑦ステレオセパレーション
④AGC特性	⑧総合ひずみ率	④クロストーク	⑧ひずみ率

### ●機器構成例

信号発生部	AMステレオ信号発生器	VP-8254A×1	
コンピュータ本体 フロントモジュール	計測制御コンピュータ DCメジャー AFメジャー AFソース (W & Fメジャー)	VP-1611A×1 VP-0162A×1 VP-0163A×2 VP-0170A×1 (VP-0166A)×1	*ACTION言語による容易なプログラミング
リアモジュール	48bit DIO I/O MPX リロードライバー インジケータユニット	VP-0188A×1 VP-0189A×1 VP-0184A×1 VP-0186A×1	外部機器切替用 入出力切替用 外部治具、リレー切替用 インジケータ、リモコン付
エディタツール	フロッピー&ディスプレイユニット キーボード	VP-0184A×1 VP-0187A×1	フロッピー、CRT、プリンタ内蔵
接続ケーブル		一式	
*ACTION*ソフトパッケージ		一式	

# GP-IBを装備したトータルパワーの具現化。

## ●代表特性例



GP-IB、  
メモリーコントロール機能  
により、システム化に対応

▼GP-IBの標準装備で、周波数、出力レベル、変調、メモリー機能などをプログラムコードで設定。さらに、基本的リスナ、トーカー、リモート/ローカル、デバイスクリア機能を搭載▼リモートコントロール機能は、GP-IBとは別に、連動プリセット100点のリコールと周波数出力レベルの制御・インCREMENTを実行。100点中、任意の2つのアドレス間の順次リコールも可能

## ●GP-IBインタフェース機能

機能	分類	機能内容
ソースハンドシェイク	SHI	全機能を有する
アクセプタハンドシェイク	AHI	全機能を有する
トーカー	T 8	基本的トーカー、MLAによるトーカー解除
リスナ	L 4	基本的リスナ、MTAによるリスナ解除
サービスリクエスト	SR0	機能なし
リモート/ローカル	RLI	全機能を有する
パラレルポール	PP0	機能なし
デバイスクリア	DCI	全機能を有する
デバイストリガ	DT0	機能なし
コントローラ	C 0	機能なし

## ●コントロール項目と入力データコード

項目	ヘッダコード	データコード	内容	項目	ヘッダコード	データコード	内容
周波数	FR	200.00~1999.99	200.00kHzから1999.99kHzの周波数の設定	NEG PEAK CLIPPER ON/OFF	NP	0	OFF
出力レベル	LE	-20DB~132DB -133DB~190DB	dBμV単位での出力レベルの設定 dBm単位での出力レベルの設定 (単位を省略すると、パネルで示す単位系になります)	MOD SIGNAL ON/OFF	SI	0	OFF
MOD SIGNALによる変調度	MS	00~125 (00~80)	MODE SELECTORがL=R、L=-Rである場合の設定 (L ONLY、R ONLYである場合の設定)	パイロット ON/OFF	PI	0	OFF
パイロットの変調度	MP	0.0~12.5	(0.1ステップで入力されます)			1	L=R
変調信号源選択	MO	1 2 3	INT TONE EXT TONE EXT L・R	MODE SELECTOR	MD	2	L ONLY
TONE FREQ	TO	1 4	1kHz 400Hz			3	R ONLY
						4	L=-R
				連動プリセット	RC/ST	00~99	連動プリセットのアドレス00~99のリコールとストア
				出力独立プリセット	RC/ST	A、B、C、D	出力独立プリセットa~dのリコールとストア

## ●数字キー入力例 周波数1200kHz、出力120dB(7dBm)、変調50%、パイロット10%

設定項目	→操作手順			備考
	FUNCTIONキー	数字入力(データ入力)	エンター	
周波数 FREQ kHz	<input type="checkbox"/>	kHz単位で入力 kHz以下の入力(ゼロ以外) <b>1</b> <b>2</b> <b>0</b> <b>0</b> キー → は <b>□</b> を入れる		
出力レベル LEVEL dB	<input type="checkbox"/>	1dB単位で入力 dB/dBmは選択のこと マイナスのときは <b>□</b> キーを (dBmのとき <b>7</b> ) → 入力		キー操作後 消灯 (設定終わり)
変調度 MOD SIGNAL%	<input type="checkbox"/>	1%単位で入力 <b>5</b> <b>0</b> キー →		ENTRY後は MOD-ONと なる
パイロット PILOT	<input type="checkbox"/>	0.1単位で入力 小数点以下の入力(ゼロ以外) <b>1</b> <b>0</b> キー → は <b>□</b> キーを入力		ENTRY後は PILOT-ONと なる

数値を1桁でも入れるとENTRYキーが点滅します。